

平成28年度宇宙関係概算要求 静止気象衛星の整備

気象庁
平成27年9月

静止気象衛星の整備

(ひまわり8号：平成27年7月7日運用開始、ひまわり9号：平成28年度打上げ予定)
平成28年度概算要求額8,292百万円(平成27年度予算額8,356百万円)

国土交通省気象庁観測部
気象衛星課
03-3212-8341

事業の内容

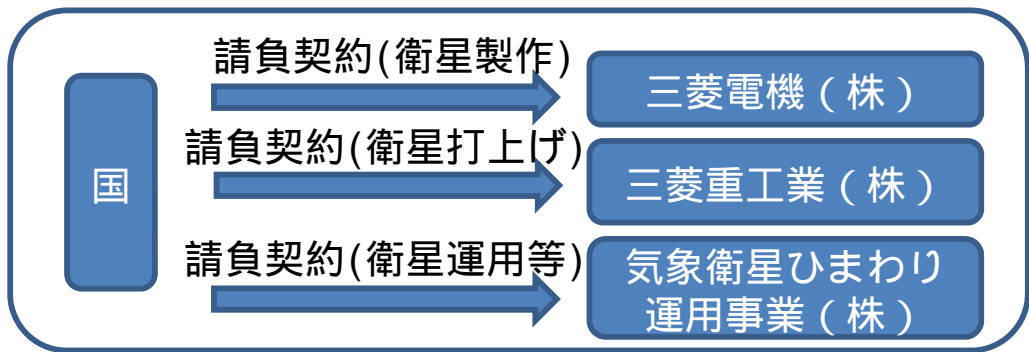
事業の概要・目的

国民の安心・安全に寄与する防災情報の作成及び地球環境の監視に欠かせない次期静止気象衛星ひまわり8号及び9号を整備します。

平成26年度打上げのひまわり8号は平成27年7月7日に運用開始。ひまわり9号は平成28年度に打上げます。

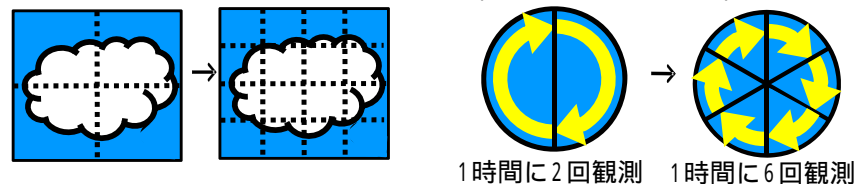
(年度)	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	2010					2015					
ひまわり8号 ひまわり9号	衛星製作					打上		観測			
	衛星製作					打上		待機			
衛星運用(PFI事業者)	地上設備製作					衛星運用等					
衛星打上げ	打上げ(8・9号一括契約)										

条件(対象者、対象行為、補助率等)



事業イメージ

ひまわり8号及び9号においては観測機能を強化します。
・解像度を2倍
・1回の観測に要する時間を短縮(30分→10分)



・観測種別を3倍

観測種別	白黒画像	なし	赤外線
波長	短波長 (人の目に見える)	近赤外線 (人の目に見えない)	長波長 (人の目に見えない)
現行衛星 5種類	1種類	なし	1種類
次期衛星 16種類	BGR 3原色画像 カラー合成	3種類の画像	10種類の画像

効果

【防災のための監視機能を強化】

台風や集中豪雨等の観測情報をより精密により早く提供できます。

【地球環境の監視機能を強化】

海面の温度、海氷の分布、大気中の微粒子等といった観測をより高精度に実施できます。

